



### 内視鏡手術

手術がかんたんで後遺症も少なくなりま

最近の医学の進歩で、患者さんに恩恵をもたらしているものとして、内視鏡手術があります。胃や、大腸などのポリープを取り除くことから盛んになったものですが、現在ではかなり多方面に行われています。

早期の食道がん、胃がん、大腸がん、胆石症の手術など、これまでのお腹を切った手術ですと、最低二週間の入院が必要でしたが、内視鏡手術ですと二三日の入院でできますし、傷がほとんど残りませんので、後遺症も少なくなります。

内視鏡手術でうまく行か、判断がむずかしい

食道がん、胃がん、大腸がんなどの手術では早期がんで、がんが深く入っていないのが原則です。

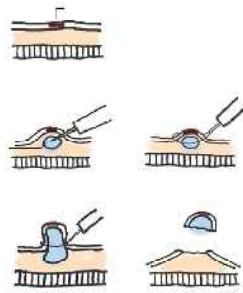
胆石症も、あまり痛みを繰り返していかなくて、胆嚢が周囲と癒着していないものが原則です。

どんな病気が内視鏡で手術できるのか

食道がん、食道静脈瘤、胃がん、胃ポリープ、大腸がん、大腸ポリープ、初期肺がん、自然気胸(肺に穴が開く)胆石症、関節鏡による手術。

泌尿器科、婦人科手術などが主なものです。

胃粘膜切除 病巣



生理食塩水注射

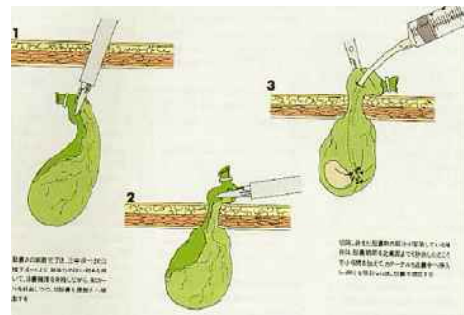
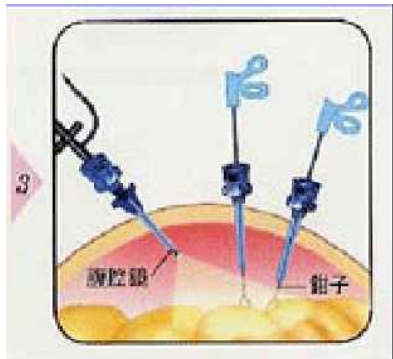
やっと内視鏡で手術してくれる医者がみつかりました

早期胃がんといわれたが、どこでも内視鏡手術はできないといわれたが、ある病院でやっと内視鏡手術をしてくれることになりましたと嬉んで報告した患者さんがおられました。私には心配です。

早期胃がんだと思ってても、少し深く行っていそうだと思うと、

内視鏡で手術しない方が良いのです。内視鏡で手術するといった医師は判断が甘かったかも知れないのです。

胆嚢摘除



### 内視鏡手術による事故

内視鏡を使って手術をすると、見える範囲が狭いので事故を起しやすくなります。

ですから簡単な手術だけが対象となります。

同じ胆石症でも何回も痛みを繰り返したものは、胆嚢が周囲臓器にベタベタくっついてしまっている場合が多いのですが、こういう例は内視鏡での手術は難しくなります。無理をすると事故が起こりやすくなります。

内視鏡手術は簡単な手術で済むものに対してはほんとうに有用です

これまで胆石の手術では簡単なものでもお腹を二十cm位切らないとできませんでしたが、内視鏡手術ですと、小さな穴を四ヶ開ければ可能です。ですから治りも早く後遺症もほとんどありません。

院長



### 1月・2月の休診日

休診 日曜・祭日  
午後休診 水曜・土曜・第ホ曜

E・メールを送って下さい。  
norikazu@okutu.jp



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。  
受け付けからのお願い  
月初めには必ず保険証を受け付けにお出し下さい。  
診察券は毎回お持ち下さい。  
編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。